



令和8年 3月17日 (火)
静岡 大学 教育学部
附属 静岡 小学校
3年 学年便り 春休み号

仲間とのつながりが生み出す、「ひびき」の未来

修了式の言葉の代表に立候補した子の中に、次のようなことを書いている子がいました。

3年生。はじめてのクラス替えがありました。自分は新しい友達になれるのに少し時間がかかりました。だけど、日がたつと新しい友達が声をかけてくれたり、自分から声をかけてみたりしたら新しい友達ができました。友達っていいなと思ったのが焼津宿泊体験の活動でした。(中略) 私は、困ったり楽しかったりしたことも一緒に考えられる友達はいいなと思いました。

私は、この1年間でたくさんの思い出ができました。(中略) 演技が思うようにいかず、くやしいこともたくさん経験して落ち込んだこともありました。そんなときに、クラスのみんが「行ってらっしゃい。頑張ってるね。応援しているよ」と励ましてくれたので乗り越えられました。(中略) 「いつでも戻ってこられる」と思える学校がもっと好きになりました。

初めてのクラス替えの不安と共にスタートした4月から1年が経ち、新たな人とのつながりを感じ、そこに存在する自分に安心感を抱いた子どもだったのでしょ。

新たなつながりを増やしていくことは、その子が自立という幹を支える“根”となると思います。一緒に喜んでくれる、悩みを一緒に考えてくれる、そんな仲間が増え、生活をよりよくしようと、話の聴き方や安全な生活について“響き合い”を大切にしてきた結果が今の「ひびき」の子なのでしょう。「響」という字に込められた“会話を通して心が通い合う”ということが「ひびき」の子にとって当たり前になっているからこそ生まれる人とのつながりが生み出したものでもあると感じています。

4月になると新たなクラスで新たな人と出会います。きっと今の「ひびき」の子であれば、対話を通して心を通わせながら新たなつながりを創っていくのだらうと感じます。つながりを広げながら、自立し、4年生としてさらなる成長をしていく「ひびき」の子が創り出す未来に期待しています。

最後になりましたが、保護者の皆様には、この1年間、共に子どもを温かく見守り、支えていただきましたこと、心より感謝申し上げます。来年度も、子どもの成長を私たち教職員と共に支えていただければ幸いです。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

《3年部 先生から「ひびき」の子へメッセージ》

3年1組 田中 泰慈(たなか たいし)

「先生、もう自分たちでできるからさ。まかせてよ」とある子に言われたとき「すごい!ひびきの子たちって、すごく成長している!」と心の底から思いました。1年間、ひびきのみんがの成長を近くで見ると、たくさん驚いたり、感動したりさせてもらいました。ひびきのみんがありがとう!

3年2組 亀山 慎二(かめやま しんじ)

附属小1年目に「ひびき」のみんさんと一緒に生活できて本当に幸せでした。運動会や焼津宿泊体験学習、つどいを通してどんどん成長していくみんなの姿がとても頼もしかったです。4月からは高学年の仲間入りですね。今よりもさらにかっこいい姿を見せてください。

3年3組 渡邊 翔太(わたなべ しょうた)(主任)

クラス関係なく、休み時間に遊ぶみんなを見て、「ひびき」の仲間とのつながりを大切にしている、すてきだと思っていたよ。そのつながりは相手を大切にすることにつながるよね。そんなよさを生かして生活するひびきのみんが大好きです!!4年生でもがんばれ!

3年部学年付 坂井 遥(さかい はるか)

新しい教科や新しいクラスなど、新しいこといっぱい3年生でした。新しいことにチャレンジし、仲間と意思をともにしあう中で生まれる、みんなの「ひびき合い」がとてもすてきでした。これからも、仲間といっしょに「自らを」「きりひらく」みんなのことを応援しています!